

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターにじいろキッズらいふ 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 15日		～ 令和6年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 6日		～ 令和6年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの状況を保護者の方と伝え合いを大切にしており、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると捉えます。	今年度より、お迎えに来ていただいた際は、お子さんのいない場所で情報共有の時間を作る事を工夫しました。以前より、お子さんの家庭の様子や、保護者様も相談など気軽にできることで評価をいただいています。	引き続き、保護者の方との良好な信頼関係を築きながら、家庭の様子、学校での様子やにじいろキッズらいふでの様子などの共有をする中で、お子さんの強みや興味関心などの共有をしていきたいと思います。相談等ある場合はお気軽にお声がけください。
2	専門職の定期的なモニタリングとカンファレンスを実施し、職員の資質向上に努めています。また、チーム支援を大切にしており、独りよがりの支援にならないよう留意しています。	職員ひとりのアセスメント(見立て)ではなく、専門職に定期的モニタリングに入っていただくことで、多面的にお子さんの評価ができます。チーム支援は、支援方法の共有も大切にしています。	関わる職種や職員が多いので、個人情報の管理には十分気を付け、支援の共有化をするための工夫を引き続き行います。
3	環境・体制整備について高く評価をいただいています。児童発達と共有スペースもあり、またホールや会議室など使えるスペースは十分と考えます。	広いスペースやいくつもあるスペースをお子さんの状況に合わせて、構造化し、安心安全に過ごせる環境調整も工夫しています。	長期休みの際は、朝からお子さんのお受け入れがあり、児童発達のお子さんとの共有スペースをどう有効活用できるかを引き続き譲歩し合い、お子さんにとって居心地よくわかりやすい空間の配慮をまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者からの評価の提出率がとても少なく、保護者の方から、ご意見やご要望などお聞きできる機会でしたので残念でした。	今年初めての保護者評価だった事、Googleフォームを使用したアンケート記入だったことが要因と考えます。	今回は、通知で周知するほか、直接お声がけさせていただいたり工夫をします。お子さんや保護者の方の声をこれからも大切に受け止め、支援の資質向上に努めてまいります。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。きょうだい同士の交流の機会が設けられているかについては、『わからない』『いいえ』『どちらともいえない』の回答がほとんどでした。	保護者の方に周知されていない事が要因と考えます。	にじいろキッズらいふの中に、親の会や保護者の方がいつ来ても使えるように部屋を確保しWi-Fi環境やプリンター等の設備も整えてあり、親の会の利用が平日休日あります。学齢期の研修なども開催されているため、広く周知するために、今後SNS等も利用していきたいと考えます。
3	児童館やプラザ等地域の子どもの交流の機会を持つについては、現在取り組みがされていません。	児童発達に比べ、平日の利用時間が少ないため、地域との交流や、ほかのお子さんとの関わりの場を持つという視点がありませんでした。	児童館やプラザに関わらず、同年代のお子さんや、地域の方との交流の機会や場の開拓を検討していきます。